

産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 6 月 日

新潟市長様

提出者

住所 新潟市江南区亀田工業団地3-1-16

氏名 株式会社 栗田工務店
代表取締役社長 栗田 浩

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 025-382-3707

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 栗田工務店
事業場の所在地	新潟市江南区亀田工業団地3-1-16
計画期間	令和 5 年 4 月 1 日 から 令和 6 年 3 月 31 日 まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 19億円
③ 従業員数	30人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃プラスチック類 再生処理業者へ委託 → 原料として再資源化 ・ 木くず 再生処理業者へ委託 → 木材チップとして再資源化 ・ 金属くず 鉄・非鉄に分別 → 電炉メーカー(鉄)、商社(非鉄)へ売却 ・ コンクリートがら 再生処理業者へ委託 → 再生砕石として再資源化 ・ アスコンがら 再生処理業者へ委託 → 再生アスファルトとして再資源化 ・ 石膏ボード 再生処理業者へ委託 → 再生ボードとして再資源化 ・ ガラス・陶磁器くず 再生処理業者へ委託 → 再生資源材又は埋め立て処分 ・ 建設混合廃棄物 再生処理業者へ委託 → 再分別 ・ 燃え殻 再生処理業者へ委託 → 管理型埋立て ・ 紙くず 再生処理業者へ委託 → 再生売却 ・ 汚泥 再生処理業者へ委託 → コン練り後売却

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（4年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	コンクリートがら	アスコンがら	石膏ボード	ガラス・陶磁器くず	紙くず	木くず	金属くず
	排出量	104.74 t	2,173.89 t	1.50 t	14.27 t	21.84 t	0.60 t	11.34 t	3.01 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	燃えがら	汚泥					
	排出量	13.34 t	0.79 t	4.40 t					
(これまでに実施した取組)									
② 計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	コンクリートがら	アスコンがら	石膏ボード	ガラス・陶磁器くず	紙くず	木くず	金属くず
	排出量	100.00 t	700.00 t	10.00 t	20.00 t	20.00 t	5.00 t	10.00 t	5.00 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	燃えがら	汚泥					
	排出量	15.00 t	1.00 t	4.00 t					
(今後実施する予定の計画)									
上記の内容を更に細分別を実施する予定。									

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	がれき類、金属くず、廃プラスチック類は分別するとともに、他の廃棄物が混入しないようにコンテナにて保管。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	再分別化を計り、がれき類を更にコンクリート殻、瓦、レンガ類、タイル殻に分別し、廃プラスチック類を更に発泡スチロール類、ビニールシート類、その他廃プラスチック類に分別する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

		【前年度 (年度) 実績】							
① 現状	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	コンクリートがら	アスコンがら	石膏ボード	ガラス・陶磁器くず	紙くず	木くず	金属くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	燃えがら	汚泥					
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
		【目標】							
② 計画	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	コンクリートがら	アスコンがら	石膏ボード	ガラス・陶磁器くず	紙くず	木くず	金属くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	燃えがら	汚泥					
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

		【前年度 (年度) 実績】							
① 現状	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	コンクリートがら	アスコンがら	石膏ボード	ガラス・陶磁器くず	紙くず	木くず	金属くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	燃えがら	汚泥					
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
		【目標】							
② 計画	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	コンクリートがら	アスコンがら	石膏ボード	ガラス・陶磁器くず	紙くず	木くず	金属くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	燃えがら	汚泥					
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									

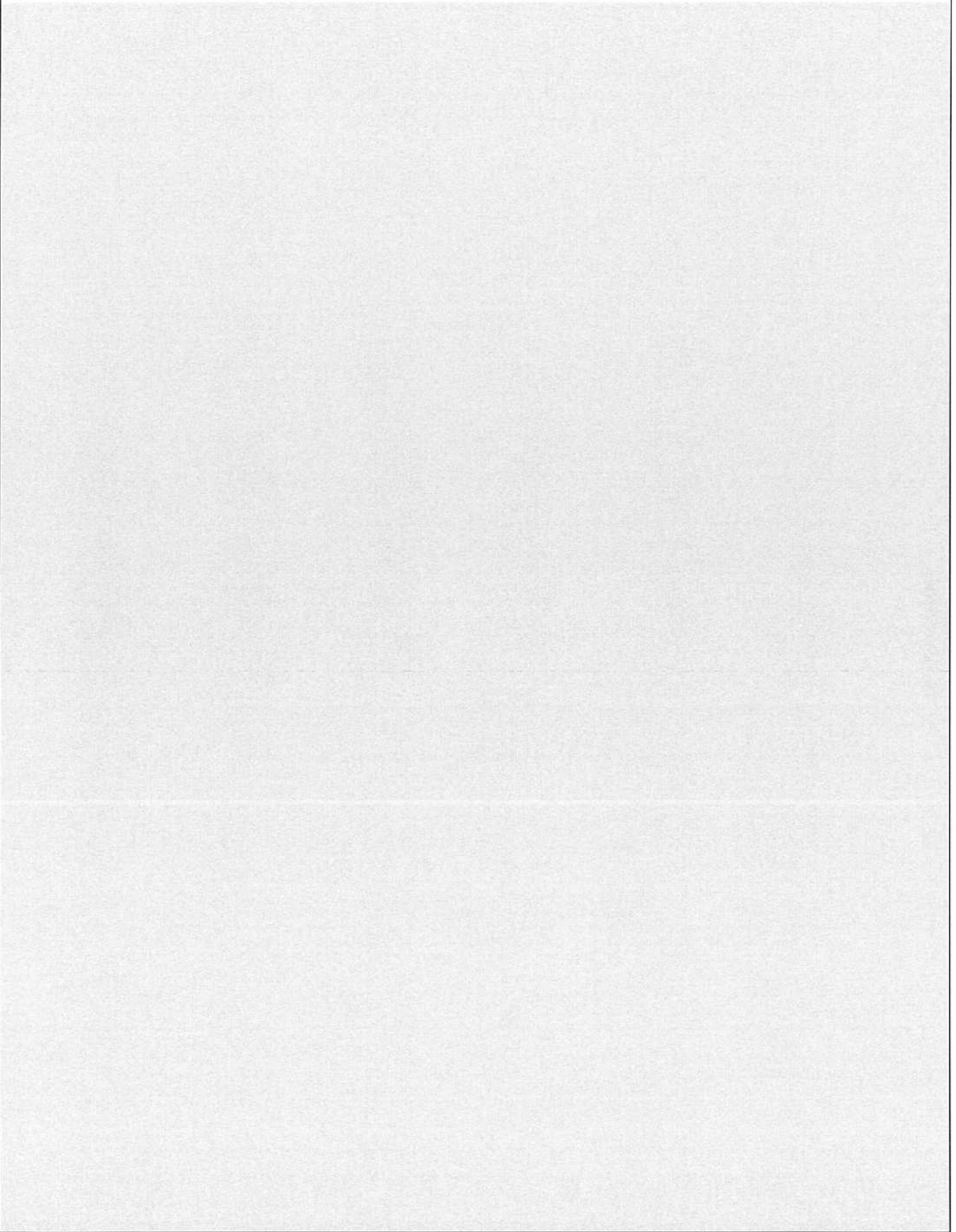
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（年度）実績】		建設混合廃棄物	コンクリートがら	アスコンがら	石膏ボード	ガラス・陶磁器くず	紙くず	木くず	金属くず
①現状	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	燃えがら	汚泥					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
【目標】		建設混合廃棄物	コンクリートがら	アスコンがら	石膏ボード	ガラス・陶磁器くず	紙くず	木くず	金属くず
②計画	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	燃えがら	汚泥					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（4年度）実績】		建設混合廃棄物	コンクリートがら	アスコンがら	石膏ボード	ガラス・陶磁器くず	紙くず	木くず	金属くず
①現状	産業廃棄物の種類								
	全処理委託量	104.74 t	2,173.89 t	1.50 t	14.27 t	21.84 t	0.60 t	11.34 t	3.01 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	104.74 t	2,173.89 t	1.50 t	14.27 t	21.84 t	0.60 t	11.34 t	3.01 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	燃えがら	汚泥					
	全処理委託量	13.34 t	0.79 t	4.40 t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	13.34 t	0.79 t	4.40 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
がれき類、金属くず、廃プラスチック類は分別するとともに、他の廃棄物が混入しないようにコンテナにて保管。									

① 計 画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	コンクリートがら	アスコンがら	石膏ボード	ガラス・陶磁器くず	紙くず	木くず	金属くず*
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	コンクリートがら	アスコンがら	石膏ボード	ガラス・陶磁器くず	紙くず	木くず	金属くず*
	全処理委託量	100.00 t	700.00 t	10.00 t	20.00 t	20.00 t	5.00 t	10.00 t	5.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	100.00 t	700.00 t	10.00 t	20.00 t	20.00 t	5.00 t	10.00 t	5.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	燃えがら	汚泥					
	全処理委託量	15.00 t	1.00 t	4.00 t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	15.00 t	1.00 t	4.00 t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)								
	<p>細分別化を計り、がれき類を更にコンクリート殻、瓦、レンガ類、タイル殻に分別し、廃プラスチック類を更に発泡スチロール類、ビニールシート類、その他廃プラスチック類に分別する。</p>								
	※事務処理欄								



産業廃棄物処理計画書（集計用シート）

提出者の名称	株式会社 栗田工務店代表取締役社長 栗田 浩	提出者の住所	新潟市江南区亀田工業団地3-1-16
事業場の名称	株式会社 栗田工務店	事業場の所在地	新潟市江南区亀田工業団地3-1-16
内容年度	5 年度		

（単位:トン）

廃棄物の種類	現状 ／ 計画	排出量 A	自社内での処理状況				委託先での処理状況				
			自己再生 利用量 B	うち熱 回収量 C	自己中間 処理 減量化量 D	自己最終 処分量 E	全処理 委託量 F	委託処理量のうち委託先毎の量			
								優良認定 処理業者 への処理 委託量 G	再生利用 業者への 処理 委託量 H	熱回収 認定業者 への処理 委託量 I	熱回収 認定業者 以外の熱 回収を行 う業者へ の処理 委託量 J
建設混合廃棄物	現状	104.74					104.74		104.74		
	計画	100.00					100.00		100.00		
コンクリートがら	現状	2,173.89					2,173.89		2,173.89		
	計画	700.00					700.00		700.00		
アスコンがら	現状	1.50					1.50		1.50		
	計画	10.00					10.00		10.00		
石膏ボード	現状	14.27					14.27		14.27		
	計画	20.00					20.00		20.00		
ガラス・陶磁器くず	現状	21.84					21.84		21.84		
	計画	20.00					20.00		20.00		
紙くず	現状	0.60					0.60		0.60		
	計画	5.00					5.00		5.00		
木くず	現状	11.34					11.34		11.34		
	計画	10.00					10.00		10.00		
金属くず	現状	3.01					3.01		3.01		
	計画	5.00					5.00		5.00		
廃プラスチック類	現状	13.34					13.34		13.34		
	計画	15.00					15.00		15.00		
燃えがら	現状	0.79					0.79		0.79		
	計画	1.00					1.00		1.00		
汚泥	現状	4.40					4.40		4.40		
	計画	4.00					4.00		4.00		
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
合 計	現状	2,349.72					2,349.72		2,349.72		
	計画	890.00					890.00		890.00		